

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

13:40

様式9-1(1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第22490報)

2021年7月9日13時32分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 磯貝 智彦

連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要) 本日13時05分頃、スラッジ保管施設重機仮置き場付近に油の痕跡があることを協力企業作業員が発見した。</p> <p>状況は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発見時刻 13時05分 ・発生場所 発電所構内 スラッジ保管施設重機仮置き場付近 ・発見者 協力企業作業員 ・漏えい範囲 確認中 ・漏えい継続の有無 なし ・双葉消防本部への連絡時刻 13時12分 <p>現在、現場状況を確認しており、状況が分かり次第お知らせします。</p> <p>【公表区分：C】</p> <p>※添付の有り・<u>無し</u></p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所, 発生時刻, 種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況, 故障機器の応急復旧, 拡大防止措置等の時刻, 場所, 内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況, 被ばく患者発生状況等について記載する。

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

15:05

1/1

様式9-1(1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第22491報)

2021年7月9日14時46分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 磯貝 智彦
連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要)</p> <p>第22486報でお知らせしたとおり、サブドレン他水処理施設一時貯水タンクCに貯水していた水について、本日以下のとおり排水を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・排水開始 : 10時07分 ・排水終了 : 13時01分 ・排水量 : 429m³ <p>排水状況については、漏えい等の異常がないことを確認しております。</p> <p>【公表区分：E】</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

※添付の有り(無し)

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

1/2

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

15:05

様式0-1(1/2)
(第22492報)

応急措置の概要 (原子炉施設)

2021年7月9日14時46分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 磯貝 智彦
連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	(対応日時, 対応の概要) 第8137報他でお知らせした、1号機放水路上流側立坑においてCs-137の濃度が上昇した事象、及び第10182報他でお知らせした、2号機放水路上流側立坑において全ベータ放射能及びトリチウム濃度が上昇した事象について、1号機及び2号機放水路上流側立坑水の分析を実施しましたので、以下のとおり報告します。 ・1号機、2号機放水路 分析結果 <p style="text-align: right;">[採取日 7月7日]</p> 今回の分析結果については、至近の分析結果と比較して有意な変動はありませんでした。今後も監視を継続していきます。 【公表区分: その他】
その他の事項の対応(注3)	※添付の有り・無し なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

- (注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所, 発生時刻, 種類について記載する。
- (注2) 設備機器の状況, 故障機器の応急復旧, 拡大防止措置等の時刻, 場所, 内容について発生時刻順に記載する。
- (注3) 緊急時対策本部の設置状況, 被ばく患者発生状況等について記載する。

2/2

2021年7月9日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所推進カンパニー

1号機, 2号機放水路 分析結果

採取地点	採取日時	分析項目			
		全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
1号機放水路立坑水	上流側	1.8E+03	< 1.2E+02	5.9E+01	1.4E+03
	下流側	2.4E+03	4.3E+02	3.6E+01	8.1E+02
2号機放水路立坑水	上流側	9.7E+02	< 1.2E+02	3.4E+01	7.2E+02
	下流側	5.7E+01	< 1.2E+02	< 6.4E+00	3.3E+01

・核種毎の半減期：H-3(約12年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

・不等号 (<: 小なり) は, 検出限界値未満 (ND)を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

・O.OE±Oとは, $0.0 \times 10^{+0}$ であることを意味する。

(例) 3.1E+01は 3.1×10^1 で31, 3.1E+00は 3.1×10^0 で3.1, 3.1E-01は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

15:05 1/12

様式0-1(1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第 2 2 4 9 3 報)

2021年7月9日14時46分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 磯貝 智彦
連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項口)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要) プラント関連パラメータ、タンクエリアパトロール結果等について、下記の通りお知らせいたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1号機原子炉格納容器内水位 [7月9日11時00分現在] 現状の水位は、水位計L3 (T.P.+6, 264mm) 設置位置の付近にある。(原子炉格納容器底部はT.P.+4, 744mmである) ※原子炉への注水は安定して継続実施中 ※原子炉圧力容器底部温度、格納容器ガス管理システムの放射能および敷地境界モニタリングポスト等に有意な変動なし ※1号機については、原子炉格納容器水位に応じた注水量の調整を継続しているため、監視強化を実施しています。なお、水位の変動に伴い格納容器圧力も変化しますが、これまでの監視において外部への影響がないことを確認しています。 <p>・プラント関連パラメータ [7月9日11時00分現在] ・集中廃棄物処理施設周辺サブドレン水 分析結果 [採取日 7月8日] ・構内排水路 分析結果 [採取日 7月7日、8日] ・護岸地下水観測孔 分析結果 [採取日 7月6日、8日] ・海水分析結果<港湾内、放水口付近> [採取日 5月31日、7月8日] ・発電所敷地内におけるモニタリング結果について、前回のお知らせから有意な変動はありません。 ・タンクエリアパトロール及び汚染水タンク水位計による常時監視において、漏えい等の異常はありません。 ・建屋滞留水の移送状況について、パトロール及び警報監視において、漏えい等の異常は確認されません。</p> <p>サブドレン他水処理施設一時貯水タンクLの当社及び第三者機関による分析結果については、共に運用目標値を満足していたことから、7月10日に排水を実施します。 排水開始・終了の実績については、別途お知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サブドレン・地下水ドレン浄化水 排水前分析結果 [採取日 7月5日] <p>【公表区分：その他】 ※添付の有(有)り・無し</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

- (注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。
- (注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。
- (注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

2/12

福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ

2021年7月9日 11:00現在

(留意事項)
各計測器については、指標やその後の事後処理の要否を明記して、通常の使用状態を維持しているものとあり、正しく測定されていない可能性のある計測器も含まれている。プラントの状態を把握するために、このような計測器の不確かさを考慮したうえで、複数の計測器から得られる情報を活用してデータの信頼性にも留意して総合的に判断している。

	1号機	2号機	3号機	4号機
原子炉炉注水状況	給水系: 2.1 m ³ /h CS系: 1.5 m ³ /h (7/9 11:00 現在)	給水系: 1.5 m ³ /h CS系: 1.5 m ³ /h (7/9 11:00 現在)	給水系: 1.4 m ³ /h CS系: 1.5 m ³ /h (7/9 11:00 現在)	
原子炉炉圧力容器 底部温度	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69L1): 24.4 °C 原子炉 SKIRT JOINT 上部 (TE-263-69H1): 23.8 °C VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2): 23.9 °C (7/9 11:00 現在)	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H3): 28.8 °C RPV温度 (TE-2-3-69R): 31.0 °C (7/9 11:00 現在)	スカートジャンクション上部温度 (TE-2-3-69F1): 27.1 °C RPV底部ヘッド上部温度 (TE-2-3-69H1): 25.9 °C (7/9 11:00 現在)	
原子炉格納容器 内温度	HVH-12A RETURN AIR (TE-1625A): 23.9 °C HVH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F): 23.9 °C (7/9 11:00 現在)	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B): 29.2 °C SUPPLY AIR D/W COOLER HVH-2-16B (TE-16-114G#1): 28.9 °C (7/9 11:00 現在)	格納容器空調機戻り空気温度 (TE-16-114A): 27.7 °C 格納容器空調機供給空気温度 (TE-16-114F#1): 26.0 °C (7/9 11:00 現在)	
原子炉格納容器 圧力	0.11 kPa.g (7/9 11:00 現在)	2.64 kPa.g (7/9 11:00 現在)	0.42 kPa.g (7/9 11:00 現在)	
窒素封入流量 ※3	RPV (RVH-A): - Nlml/h (RVH-B): 15.27 Nlml/h (JP-A): 14.78 Nlml/h (JP-B): - Nlml/h PCV: - Nlml/h (7/9 11:00 現在) ※4	RPV-A: 6.61 Nlml/h RPV-B: 6.78 Nlml/h PCV: - Nlml/h (7/9 11:00 現在) ※4	RPV-A: 8.16 Nlml/h RPV-B: 8.61 Nlml/h PCV: - Nlml/h (7/9 11:00 現在) ※4	
原子炉格納容器 ガス管理システム 排気流量	23.9 m ³ /h (7/9 11:00 現在)	16.18 Nlml/h (7/9 11:00 現在)	17.72 Nlml/h (7/9 11:00 現在)	
原子炉格納容器 水素濃度 ※1	A系: 0.00 vol% B系: 0.00 vol% (7/9 11:00 現在)	A系: 0.02 vol% B系: 0.01 vol% (7/9 11:00 現在)	A系: 0.06 vol% B系: 0.06 vol% (7/9 11:00 現在)	
原子炉格納容器 放射能濃度 (Xe135) ※2	A系: 指示値 9.00E-04 Ba/cm ³ 検出限界値 4.10E-04 Ba/cm ³ B系: 指示値 1.31E-03 Ba/cm ³ 検出限界値 3.30E-04 Ba/cm ³ (7/9 11:00 現在)	A系: 指示値 ND 検出限界値 1.3E-01 Ba/cm ³ B系: 指示値 ND 検出限界値 1.3E-01 Ba/cm ³ (7/9 11:00 現在)	A系: 指示値 ND 検出限界値 1.9E-01 Ba/cm ³ B系: 指示値 ND 検出限界値 1.9E-01 Ba/cm ³ (7/9 11:00 現在)	
使用済燃料プール 水温度	30.8 °C (7/9 11:00 現在)	29.5 °C (7/9 11:00 現在)	- °C ※6 (7/9 11:00 現在)	- °C ※6 (7/9 11:00 現在)
FPC 貯水タンク 水位	4.17 m (7/9 11:00 現在)	3.24 m (7/9 11:00 現在)	- m ※6 (7/9 11:00 現在)	67.0 X100mm (7/9 11:00 現在)

(注) 1: 放射能濃度は0.00%と表示する。(水素濃度が極めて低い場合は、計測精度によりマイナス表示される場合があるため)
 ※2: 放射能濃度は0.00%と表示する。(水素濃度が極めて低い場合は、計測精度によりマイナス表示される場合があるため)
 ※3: 放射能濃度は0.00%と表示する。(水素濃度が極めて低い場合は、計測精度によりマイナス表示される場合があるため)
 ※4: 放射能濃度は0.00%と表示する。(水素濃度が極めて低い場合は、計測精度によりマイナス表示される場合があるため)
 ※5: 4号機使用済燃料プール貯水タンク停止使用中
 ※6: 計測に誤り、データ欠落

3/12

2021年7月9日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

集中廃棄物処理施設周辺サブドレン水 分析結果 (Y)

採取地点	採取日時	分析項目		
		I-131 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
4号T/B建屋南東	2021/07/08 08:13	< 4.8E+00	< 4.1E+00	< 4.3E+00
プロセス主建屋北東	2021/07/08 07:10	< 4.6E+00	< 4.8E+00	< 4.5E+00
プロセス主建屋南東	2021/07/08 08:07	< 4.5E+00	< 4.4E+00	< 4.9E+00
雑固体廃棄物減容処理建屋南	2021/07/08 07:31	< 4.7E+00	< 5.2E+00	< 4.6E+00
サイトバンカ建屋南西	—	—	—	—
焼却工作建屋西側	2021/07/08 07:36	< 4.8E+00	< 5.1E+00	7.3E+01
雑固体廃棄物減容処理建屋北	2021/07/08 07:26	< 4.5E+00	< 5.3E+00	< 4.8E+00
サイトバンカ建屋南東	2021/07/08 07:21	< 4.4E+00	< 5.3E+00	< 3.8E+00

・検体毎の半減期：I-131(約8日)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・不等号 (<: 小なり) は、検出限界値未満 (ND)を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

・O.OE±Oとは、 $O.O \times 10^{\pm O}$ であることを意味する。

(例) $3.1E+01$ は 3.1×10^1 で31, $3.1E+00$ は 3.1×10^0 で3.1, $3.1E-01$ は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。

・サイトバンカ建屋南西は、1回/週程度の頻度で分析を実施。

4/12

2021年7月9日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

構内排水路 分析結果 (全β・γ)

採取地点	採取日時	分析項目		
		全β (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
A排水路	2021/07/08 07:17	1.0E+01	< 7.4E-01	3.9E+00
物揚場排水路	2021/07/08 07:22	5.2E+00	< 4.3E-01	2.2E+00
K排水路	2021/07/08 06:00	8.5E+01	3.1E+00	7.5E+01
BC排水路	2021/07/08 06:00	5.6E+00	< 4.6E-01	< 5.9E-01
5,6号機排水路※1	—	—	—	—

- ・核種毎の半減期：Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)
- ・不等号 (<: 小なり) は、検出限界値未満 (ND)を表す。
- ・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。
- ・O.OE±0とは、 $0.0 \times 10^{±0}$ であることを意味する。
- ・(例) 3.1E+01は 3.1×10^1 で31, 3.1E+00は 3.1×10^0 で3.1, 3.1E-01は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。
- ・採取当日の降雨量は1.5 mm
- ・排水路流量情報は、解析中のため後日公表する。
- ※1 5,6号機排水路は1回/月に分析を実施。

5/2

2021年7月9日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

構内排水路 分析結果 (全β・H-3・Y)

採取地点	採取日時	分析項目			
		全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
A排水路	2021/07/07 08:30	6.6E+00	< 6.8E+00	< 5.2E-01	4.6E+00
物揚場排水路	2021/07/07 08:35	1.2E+01	8.7E+00	< 5.4E-01	7.5E+00
K排水路	2021/07/07 06:00	2.4E+02	3.8E+01	8.2E+00	2.1E+02
BC排水路	2021/07/07 06:00	< 3.2E+00	< 6.9E+00	< 5.5E-01	6.6E-01
5,6号機排水路※1	—	—	—	—	—

・核種毎の半減期：H-3(約12年)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・不等号 (<)：小なり)は、検出限界値未満 (ND)を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

・O.OE±Oとは、 $O.O \times 10^{\pm O}$ であることを意味する。

(例) $3.1E+01$ は 3.1×10^1 で31、 $3.1E+00$ は 3.1×10^0 で3.1、 $3.1E-01$ は 3.1×10^{-1} で0.31と読み。

・採取当日の降雨量は30 mm

・排水路流量情報は、解析中のため後日公表する。

・H-3以外は既にお知らせ済み。

※1 5,6号機排水路は1回/月に分析を実施。

6/12

2021年7月9日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・γ・塩素)

(1/2)

観測地点	採取日時	分析項目							塩素 (ppm)
		全β (Bq/L)	Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sb-125 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	
No.0-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-1-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-3-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-3-2	2021/07/08 08:30	3.8E+01	< 2.2E-01	< 2.0E-01	< 2.1E+00	< 8.1E-01	< 2.6E-01	4.0E+00	-
No.0-4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-6	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-8	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-9 ^{M1}	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-11	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-12	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-14	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-16	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1-17	-	-	-	-	-	-	-	-	-

・採掘時の半減期：Mn-54(約310日)、Co-60(約5年)、Ru-106(約370日)、Sb-125(約3年)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・不符号 (<:小なり) は、検出限界未満 (ND) を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

・O.OE±Oとは、O.O×10^Oであることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31、3.1E+00は3.1×10⁰で3.1、3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。

※1 No.1-9は、採水器による採取であるため、Y測定は実施せず、全βは参考値としてる過後に測定。

7/12

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・γ・塩素)

(2/2)

採取地点	採取日時	分析項目										
		全β (Bq/L)	Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	Ru-106 (Bq/L)	Sb-125 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	塩素 (ppm)			
1,2号観測ポイント 汲み上げ水		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
No.2	2021/07/08 08:22	2.7E+02	< 2.7E-01	< 3.7E-01	< 2.5E+00	< 1.0E+00	< 2.9E-01	2.5E+00	—	—	—	
No.2-2	2021/07/08 08:18	1.9E+02	< 1.4E+00	< 2.1E+00	< 1.5E+01	< 7.1E+00	2.1E+00	4.9E+01	—	—	—	
No.2-3	2021/07/08 08:14	4.1E+04	< 4.2E-01	< 2.6E-01	< 2.7E+00	< 1.1E+00	< 4.9E-01	6.0E+00	—	—	—	
No.2-5 ※2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.2-6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.2-7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.2-8	2021/07/08 07:57	4.1E+03	< 3.2E-01	< 3.0E-01	< 3.1E+00	< 1.2E+00	< 5.5E-01	2.8E+00	—	—	—	
2,3号観測ポイント 汲み上げ水		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
No.3	2021/07/08 07:37	3.4E+02	< 2.9E-01	< 3.2E-01	< 3.2E+00	< 1.4E+00	8.9E-01	2.0E+01	—	—	—	
No.3-2	2021/07/08 07:47	4.2E+02	< 1.7E+00	< 2.6E+00	< 1.7E+01	< 6.4E+00	< 2.5E+00	1.6E+01	—	—	—	
No.3-3	2021/07/08 07:42	2.3E+03	< 3.2E+00	< 5.1E+00	< 4.5E+01	< 1.7E+01	6.9E+00	1.3E+02	—	—	—	
No.3-4	2021/07/08 07:32	2.9E+01	< 8.5E-01	< 1.3E+00	< 9.2E+00	< 2.8E+00	< 9.8E-01	9.8E+00	—	—	—	
No.3-5 ※2	2021/07/08 07:28	2.8E+02	—	—	—	—	—	—	—	—	2.5E+02	
3,4号観測ポイント 汲み上げ水		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

・検査母の半減期：Mn-54(約310日)、Co-60(約5年)、Ru-106(約370日)、Sb-125(約3年)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・不符号 (<)：小なりは、検出限界未満 (ND)を意味す。

・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。

・O.O.E±Oとは、O.O×10^{±0}であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31、3.1E+00は3.1×10⁰で3.1、3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。

※2 No.2-5、No.3-5は、採水器による採取であるため、γ測定は実施せず、全βは参考値としてる過後に測定。

8/12

2021年7月9日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・H-3・Y・塩素)

(1/2)

採取地点	採取日時	分析項目												
		全β (Bq/l)	H-3 (Bq/l)	Mn-54 (Bq/l)	Co-60 (Bq/l)	Ru-106 (Bq/l)	Sr-125 (Bq/l)	Cs-134 (Bq/l)	Cs-137 (Bq/l)	塩素 (ppm)				
No.0-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-1-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-3-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-3-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.0-4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
No.1	2021/07/06 08:55	2.9E+04	3.5E+04	< 3.0E-01	< 3.5E-01	< 3.2E+00	< 1.4E+00	< 3.9E-01	3.4E+00	-	-	-	-	
No.1-6	2021/07/06 08:50	1.0E+06	1.2E+03	< 6.1E+01	< 3.8E+01	< 2.1E+03	< 1.2E+03	1.1E+04	2.8E+05	-	-	-	-	
No.1-8	2021/07/06 09:15	9.9E+03	3.6E+03	< 1.4E+00	< 2.1E+00	< 3.1E+01	< 1.4E+01	1.6E+01	3.9E+02	-	-	-	-	
No.1-9 ^{※1}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.1-11	2021/07/06 09:10	2.7E+01	7.8E+02	< 2.8E-01	< 3.3E-01	< 2.8E+00	< 9.3E-01	< 2.7E-01	4.2E+00	-	-	-	-	
No.1-12	2021/07/06 08:35	1.2E+03	2.4E+04	< 9.1E-01	< 1.4E+00	< 2.1E+01	< 1.1E+01	2.0E+01	5.3E+02	-	-	-	-	
No.1-14	2021/07/06 08:45	3.4E+04	1.5E+03	< 4.1E-01	< 3.3E-01	< 4.2E+00	< 1.8E+00	< 5.7E-01	6.3E+00	-	-	-	-	
No.1-16	2021/07/06 08:25	1.8E+04	< 1.1E+02	< 2.6E-01	< 2.5E-01	< 4.6E+00	< 3.3E+00	7.0E+00	1.7E+02	-	-	-	-	
No.1-17	2021/07/06 08:58	5.9E+04	9.8E+03	< 3.0E-01	< 2.7E-01	< 2.6E+00	< 1.0E+00	< 3.1E-01	2.0E+00	-	-	-	-	

・検出限界の半減期：H-3(約12年)、Mn-54(約310日)、Co-60(約5年)、Ru-106(約370日)、Sr-125(約3年)、Cs-134(約2年)、Cs-137(約30年)

・不符号 (< ; 小なり) は、検出限界未満 (ND) を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

・O、OE±Oとは、 0.0×10^0 であることを意味する。

(例) 3.1E+01は 3.1×10^1 で31、3.1E+00は 3.1×10^0 で3.1、3.1E-01は 3.1×10^{-1} で0.31と読む。

・H-3以外は既にお知らせ済み。

※1 No.1-9は、採水器による採取であるため、V測定は実施せず、全βは参考値としての過後に測定。

9/12

護岸地下水観測孔 分析結果 (全β・H-3・Y・塩素)

(2/2)

観測地点	採取日時	分析項目									
		全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Mn-54 (Bq/L)	Co-60 (Bq/L)	RU-106 (Bq/L)	Sb-125 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	塩素 (ppm)	
1,2号観測ポイント 汲み上げ水	2021/07/06 09:05	1.4E+05	1.5E+04	< 4.2E-01	< 3.7E-01	< 5.3E+00	< 2.1E+00	< 6.2E-01	4.9E+00	-	
No.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.2-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.2-3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.2-5 ※2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.2-6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.2-7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.2-8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
2,3号観測ポイント 汲み上げ水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.3-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.3-3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.3-4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
No.3-5 ※2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
3,4号観測ポイント 汲み上げ水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

・採取時の半減期：H-3(約12年), Mn-54(約310日), Co-60(約5年), Ru-106(約370日), Sb-125(約3年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

・不符号 (<:小なり) は、検出限界未満 (ND) を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「-」と記す。

・O.E±Oとは、O.O×10⁰であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。

・H-3以外は図にお知らせ済み。

※2 No.2-5, No.3-5は、採水時による採取であるため、測定は実施せず、全βは参考値として別途に測定。

10/12

2021年7月9日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

海水分析結果<港湾内, 放水口付近> (全β・γ)

試料名称	採取日時	分析項目		
		全β (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
1F 5,6号機放水口北側 (T-1)	2021/07/08 07:50	—	< 6.4E-01	< 7.3E-01
1F 6号機取水口前	2021/07/08 07:40	< 1.2E+01	< 5.5E-01	< 5.4E-01
1F 物揚場前	2021/07/08 07:12	< 1.2E+01	< 5.2E-01	6.3E-01
1F 1~4号機取水口内北側 (東波除堤北側)	2021/07/08 07:15	1.8E+01	< 6.9E-01	1.5E+01
1F 1~4号機取水口内南側 (遮水壁前)	2021/07/08 07:20	3.4E+01	1.5E+00	3.3E+01
1F 南放水口付近 (T-2)	2021/07/08 07:00	9.2E+00	< 7.6E-01	< 7.4E-01
1F 港湾口 (T-0)	2021/07/08 06:15	< 1.3E+01	< 5.9E-01	< 5.8E-01
1F 港湾中央	2021/07/08 06:11	< 1.3E+01	< 4.8E-01	< 4.0E-01
1F 港湾内東側	2021/07/08 06:13	1.3E+01	< 4.5E-01	1.2E+00
1F 港湾内西側	2021/07/08 06:09	< 1.2E+01	< 2.7E-01	4.3E-01
1F 港湾内北側	2021/07/08 06:07	< 1.2E+01	< 3.4E-01	4.9E-01
1F 港湾内南側	2021/07/08 06:17	1.4E+01	< 3.2E-01	5.9E-01
1F 北防波堤北側 (T-0-1)	—	—	—	—
1F 港湾口北東側 (T-0-1A)	—	—	—	—
1F 港湾口東側 (T-0-2)	—	—	—	—
1F 港湾口南東側 (T-0-3A)	—	—	—	—
1F 南防波堤南側 (T-0-3)	—	—	—	—
告示濃度限度 ^{*1}			6.0E+01	9.0E+01
WHO飲料水水質ガイドライン			1.0E+01	1.0E+01

・核種毎の半減期：Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)
 ・不等号 (<: 小なり) は, 検出限界値未満 (ND) を表す。
 ・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。
 ・0.0E±0とは, 0.0×10^{±0}であることを意味する。
 (例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。
 ・物揚場前は, シルトフェンス開閉を行った日は開閉実施後にもサンプリングを実施。
 ※1 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度
 (別表第一第六欄: 周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では, Bq/cm³の表記をBq/Lに換算した値を記載])

11/12

2021年7月9日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

海水分析結果<港湾内, 放水口付近> (全β・H-3・Sr・Y)

試料名称	採取日時	分析項目				
		全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)
1F 5,6号機放水口北側 (T-1)	2021/05/31 08:10	1.2E+01	1.3E+00	—	< 6.3E-01	< 6.0E-01
1F 物置場前	2021/05/31 07:25	1.6E+01	< 1.6E+00	3.0E-02	< 6.0E-01	7.4E-01
1F 1~4号機取水口内北側 (東渡路北側)	2021/05/31 07:30	1.6E+01	7.7E+00	3.1E-01	< 5.5E-01	4.6E+00
1F 1~4号機取水口内南側 (海水壁前)	2021/05/31 07:40	1.7E+01	2.7E+01	4.0E-01	< 5.0E-01	4.8E+00
1F 南放水口付近 (T-2)	2021/05/31 07:00	8.9E+00	1.0E+00	—	< 5.6E-01	< 5.4E-01
1F 港湾口 (T-0)	2021/05/31 06:58	< 1.2E+01	< 1.6E+00	1.1E-02	< 4.2E-01	< 5.2E-01
1F 港湾中央	2021/05/31 07:05	< 1.2E+01	1.7E+00	< 1.1E-01	< 5.2E-01	< 5.8E-01
1F 港湾北側	2021/05/31 07:09	< 1.3E+01	2.1E+00	1.1E-02	< 3.6E-01	3.7E-01
告示濃度限度 ^{※1}			6.0E+04	3.0E+01	6.0E+01	9.0E+01
WHO飲料水質ガイドライン			1.0E+04	1.0E+01	1.0E+01	1.0E+01

・核種の半減期: H-3(約12年), Sr-90(約29年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

・不等号 (< ; 小なり) は, 検出限界未満 (ND) を表す。

・測定対象外および採取中止の項目は「—」と記す。

・O.E±Oとは, O.O×10^{±O}であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。

・物置場前は, シルトフェンス開閉を行った日は開閉直後にもサンプリングを実施。

・Sr-90以外は既にお知らせ済み。

※1 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定放射性物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度

(別表第一第六欄: 周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では, Bq/cm³の表記をBq/Lに換算した値を記載])

12/12

2021年7月9日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

サブドレン・地下水ドレン浄化水 排水前分析結果

試料名称	採取日時	貯水量 (m ³)	分析機関	分析項目				その他 Y核種
				全β (Bq/L)	H-3 (Bq/L)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	
一時貯水タンク (サンプルタンク)	L 2021/07/05 08:30	580	東京電力	< 1.6E+00	8.2E+02	< 4.9E-01	< 6.9E-01	検出なし
			東北緑化環境保全(株)	< 3.3E-01	8.6E+02	< 5.5E-01	< 7.3E-01	検出なし
運用目標				3.0E+00 (1.0E+00) *1	1.5E+03	1.0E+00	1.0E+00	検出されないこと*2
告示濃度限度*3					6.0E+04	6.0E+01	9.0E+01	
WHO飲料水放射能ガイドライン					1.0E+04	1.0E+01	1.0E+01	

・核種毎の半減期：H-3(約12年), Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)

・不等号 (<:小なり) は、検出限界値未満 (ND)を表す。

・0.0E±0とは、0.0×10^{±0}であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。

※1 運用目標の全βについては、10日に1回程度、検出限界値を 1 Bq/Lに下げて分析を実施。

※2 Cs-134, Cs-137の検出限界値「1Bq/L未満」を確認する測定にて検出されないこと (天然核種を除く)。

※3 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度

(別表第一第六欄：周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では、Bq/cm³の表記をBq/Lに換算した値を記載])

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

15:45

1/1

様式9-1(1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第22494報)

2021年7月9日15時32分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 磯貝 智彦

連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要) 第22490報でお知らせしたスラッジ保管施設重機仮置き場付近の油の痕跡について、現場確認した結果、油は確認されませんでした。 また、近傍の排水路を確認した結果、油の流入も確認されませんでした。</p> <p>15時00分、富岡消防より「その他のその他(現場確認したところ油の滴下は確認されなかった)」と判断されました。</p> <p>【公表区分：C続】</p> <p>※添付の有り・<u>無し</u></p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事象該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

20:36

1/2

様式9-1(1/2)
(第22495報)

応急措置の概要 (原子炉施設)

2021年7月9日 20時32分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 磯貝 智彦

連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要)</p> <p>第22478報他でお知らせした、一時保管エリアP排水柵における放射能分析結果において前回と比較して高い値が確認された事象について、その後の状況をお知らせします。</p> <p>7月7日、周辺の状況調査を実施したところ、シート養生の代用として一時保管エリアP2で使用しているノッチタンク2基の天板ハッチ部蓋が4箇所ずれており、タンク内および天板上に水が溜まっていることを確認しました。天板のハッチ部蓋がずれていたノッチタンク2基については、7月8日、蓋を閉めて天板上にシート養生を実施するとともに、ノッチタンク廻りへのゼオライト土嚢の設置、ならびに一時保管エリアP南側排水溝および東側流入地点(上流)の排水溝の清掃を実施しました。</p> <p>本日の降雨に伴い、調査の一環として、下記の通り一時保管エリアP周辺の水を採取し、分析を行いました。</p> <p>【陳場沢川河口】 全ベータ:480Bq/L、セシウム137:360Bq/L、セシウム134:14Bq/L</p> <p>【南側排水溝排水口】 全ベータ:1,100Bq/L、セシウム137:1,100Bq/L、セシウム134:41Bq/L</p> <p>【沈砂池】 全ベータ:検出限界値未満(検出限界値3.4Bq/L)、セシウム137:検出限界値未満(検出限界値0.67Bq/L)、セシウム134:検出限界値未満(検出限界値0.75Bq/L)</p> <p>【一時保管エリアP排水柵】 全ベータ:検出限界値未満(検出限界値3.4Bq/L)、セシウム137:検出限界値未満(検出限界値0.59Bq/L)、セシウム134:検出限界値未満(検出限界値0.54Bq/L)</p> <p>【東側流入地点(上流)】 全ベータ:200Bq/L、セシウム137:17Bq/L、セシウム134:0.77Bq/L</p> <p>【一時保管エリアP南側排水溝】 全ベータ:390Bq/L、セシウム137:48Bq/L、セシウム134:1.5Bq/L</p>

2/2

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

	<p>7月7日に実施した分析結果において、全ベータ放射能濃度が高かった東側流入地点(上流)、および一時保管エリア P 南側排水溝については、シート養生やゼオライト土嚢の設置、ならびに排水溝の清掃により、全ベータ放射能濃度が低下していると評価しております。</p> <p>また、本日、陳場沢川河口及び南側排水溝排水口で確認された全ベータ放射能については、サンプリングした水は降雨に伴う土砂を含んでいること、および全ベータ放射能濃度とセシウム 137 の濃度が概ね等しいことから、フォールアウトに起因するものと判断しております。</p> <p>引き続き、当該エリア周辺のサーベイ等、汚染源の調査を継続し、当該排水枡や排水溝の全ベータ値がセシウム 137 の値に比べて有意に上昇した原因を調査するとともに、調査結果をふまえ、追加対策を講じてまいります。</p> <p>【公表区分：B続】</p> <p>※添付の有り・無し</p>
その他の事項の対応 (注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。